

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1	対象	1学年 HR11～16
担当者	波多野静、鈴木聡、山田康博						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
現代高等保健体育改訂版 (大修館書店)						35	
学期	月	指導内容	指導目標			時数	
1 学 期	4	オリエンテーション	科目「保健」の学習目標・内容（健康を保つために必要な知識・実践）や、評価方法（特に中学校との違い）などについて理解する。			13	
	5	わが国の健康のすがた 様々な健康のとらえかたと要因 健康と意思決定・行動選択	WHOの示す「健康」やQOLの考え方、日本の死因の多くを占める生活習慣病へ導入する。体の仕組みや正常値などを知り、自分の体や生活習慣について考える。				
	6	生活習慣病とその予防（種類、病態） 生活習慣病と食事、運動、休養・睡眠との 関わりについて	メタボリックシンドロームや肥満などを引き起こす、食事・運動・休養のありかたなどを理解し、日常生活の改善へと結び付ける。				
	7	期末考査	健康について基本的な知識・理解の定着を評価する。日常の生活習慣について考え、行動に生かせるようにする。				
2 学 期	9	喫煙と健康 飲酒と健康	喫煙による有害物質、健康被害、タバコの警告表示の国際的比較など、視聴覚教材も使用して理解する。飲酒の健康への影響を理解し、パッチテストで自分の体質を知り、注意すべきことを考える。			15	
	10	薬物乱用と健康 現代の感染症	薬物の依存性と健康被害、乱用防止対策について理解し、危険を回避する行動ができるようにする。新興感染症や再興感染症について、今日的課題と予防対策を考える。				
	11	性感染症・エイズの予防 欲求と適応規制 心身の相関とストレス ストレスへの対処	性感染症・エイズの感染経路、予防法などを理解する。思春期の心の不安定、欲求不満と適応機制、ストレスと心身症、ストレスへの対処法を知り、自他に生かせるようにする。				
	12	期末考査	基本的な知識・理解の定着を評価する。現代の様々な健康課題について考察し、考えを表現できるようにする。				
3 学 期	1	交通事故の現状と要因、交通社会における 運転者の資質と責任、安全な交通社会づくり	交通事故の推移や要因、また交通事故を起こしやすい性格を知り、事故を防止するための行動や対策を考える。			7	
	2	防災対策、応急手当と心肺蘇生法	災害への備え、自他の命を守る行動、災害時の帰宅方法をPCなどで確認する。AEDの使い方や心肺蘇生法を実習形式で習得できるようにする。				
	3	学年末考査	現代社会と健康（1単元）について、知識・理解度を評価する。健康に関わる問題や課題を、解決策など自分の考えを表現する。				
評価の観点				評価の方法			
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。現代社会と健康、安全な社会生活について理解を深める。応急手当を適切に実施できる。			ワークシート、小テスト、実習や定期考査により、知識・理解の定着度を評価する。			
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断できている。それらを目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。			課題レポートの提出による評価（調査・考察の内容、出来ばえ）、授業内レポート 授業での発言、発表などで、自分の考えをまとめ表現する。グループ学習での協調・統合			
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われている。			教科書・ノートなどの準備、注視や聴く姿勢など、授業に臨む態勢・基本的態度。関心をもち意欲的に取り組んでいるか。発問への反応や発言。主体的に調査、実践する態度。（レポート、ノート、ワークシート）			